

2012年1月～3月

間伐施業集約化事業への支援活動

戦後植えられたスギやヒノキの人工林は今成熟期をむかえ、間伐が必要な森林が多くなっています。間伐した木材を効率よく使うために、森林内に道を造ったり、小さな森林を一つにまとめたりすることが必要といわれています。これを林業用語で「施業集約化」といいます。秩父大滝の山林 24 ヘクタールで、施業集約化のための森林調査に7日間、延べ24人で参加しました。3月25日、大滝振興会館で調査結果と施業計画について、森林の持ち主へ説明会が行われました。当会からは今期のカエデ樹液採について報告をおこないました。



1月8日～3月8日毎木/プロット調査



3月14日北杜市藤原造林視察研修



3月25日調査結果説明会